

子どもたちのコミュニケーションのあり方が変化?!

～新しいコミュニケーションツールの普及～

最近、無料通話やチャットのようにメッセージを発信できるアプリケーションが普及したことにより、子どもたちは気軽に、いつでも、だれとでもつながることができるようになりました。

そして、日々寄せられる子どもたちの声から、その便利さを再確認するとともに、「大変な時代になったものだ…」と感じることもあります。

三度の飯より…

バスのなか、地下鉄のなか、さらには歩きながら…街の中の至るところで、スマートフォン片手に画面とにらめっこしている姿をよく目にします。

子どもだけではなく、大人をも夢中にさせてしまう無料のメッセージアプリ。子どもたちの生活に及ぼす影響は少なくありません。

便利さゆえに、こんな心配な声も…

アプリを利用し自分の悪口が書かれたり
写真を流された(子ども)

いじめ

アプリ内で同じグループのやりとりを
常に見ていないと話題についていけなくなっちゃう(子ども)

スマートフォンを使う時間を制限したりもしています。ルールづくりが難しいです(大人)

依存

友だちとのメッセージのやりとりの内容で
気持ちが常に揺れ動いている子どもの様子を見ているととても心配です(大人)



10秒ルールが当たり前!?

メッセージアプリでは10秒以内に返すのが暗黙のルールとなっていることを耳にすることがあります。相手にメッセージを読んだことが通知される機能があるため、すぐに返信しないと「無視した」と捉えられてしまうというのです。

子どもたちは思春期になるにつれて、他人との関係に敏感になり、周りにどう見られているのか…自分は周りから見て価値のある人間なのかな…?と思い悩み始めます。

友だちからすぐに返信が来ることで自分が相手にとってどのくらい大切に思われているのかを確認する一つのパロメーターになっているようにも感じます。



平成25年度 子どもアシストセンターの活動状況報告

相談実件数^{※1}
1,035件
(前年度1,197件)

相談者の内訳(実件数)
学校3件
親族26件
子ども592件
母親365件
その他19件
父親30件

相談内容の内訳
対人関係94件
身体的問題60件
性格行動302件
施設生活13件
家庭生活591件
学校生活1,980件

子どもからの相談方法(延べ件数)
電話481件
メール1,755件
面談49件
その他2件

※1 相談実件数:一人の子どもについての相談を1件としています。

※2 電話、メール、面談などの相談の延べ件数です。

市川救済委員に聞く

～今の子どもたちの姿～

聞こえなくなった子どもたちの声

緑が輝く季節になり、子どもたちにとっても戸外での遊びが活発になる時期です。住宅地にある小さな公園などは、小さな子も安心して遊べる場所なのですが、最近子どもの声があまり聞こえてこなくなったような気がします。かつては野球やサッカーなどで真っ黒に日焼けした小学生の元気な姿が見られた広場もひっそりとされています。

こんなところにも少子化の影響があるのかもしれません、子ども同士の交わりはどのようにになっているのかも心配になります。

大切な3つの間(あいだ)

人間関係というと、大人の世界のことのようにきこえますが、子どもの世界にも同じように「仲間関係」が存在します。大人との違いは同年代の集団が主な舞台となる点ですが、そこでの生き生きとした関わりが子どもの心の成長にどれほど大きな影響を与えるか計り知れないものがあります。

人を思いやる共感性なども培われる「仲間関係」は、誰か

に教えてもらうものではなく、全感覚を使って子ども同士で遊ぶ体験から身につけていくものです。このとき大人にできることは、子どもが心ゆくまで遊ぶことのできる時間や空間そして仲間など3つの間(あいだ)を子どものまわりに豊かに用意することでしょう。

閉ざされた間(あいだ)の危険性

中学生や高校生の間では、無料のメッセージアプリに人が集まっているようです。費用がかからないばかりでなく、時間を選ばずどこからでも友達同士がつながることができ、仲間内で通じる言葉でコミュニケーションを図れる魅力があります。一方で心配なのは、それが閉ざされた間(あいだ)になってしまうことです。

空気を読んで同調しなければならないような独特の雰囲気の中で、ちょっとした言葉が誤解を生み、時には相手を追いつめるいじめにつながることもあります。

アプリで相手から無視された、と思ったけれど、学校で会ってみるといつものやさしい友達だった…と分かったときの安心感。アシストセンターに寄せられる相談のなかにも時々見られるようになりましたが、アプリは楽しい反面、ちょっと(かなり?)窮屈そうです。

新しい便利な道具との上手な付き合い方。子どもと一緒に考えていくことが今、大切なではないでしょうか。

自分のペースで、ゆっくり言葉にしていいんだよ…

子どもアシストセンターには、メールでもたくさんの相談が寄せられています。チャットのようにすぐにお返事はできませんが、一つ一つのメールのやりとりを大切にしています。

自分のペース、タイミングで少しづつ気持ちを文字にすることで、客観的に自分を見つめることができます。そのような時間を大切にし、一歩ずつ前に進めるようお手伝いしたいと考えています。

★メール相談は24時間受け付けていますが返信はアシストの開設時間内に行っています。
右のQRコードでもアクセスできます



assist@city.sapporo.jp



子どもの
みなさんへ

子どもアシストセンターではいじめをテーマとしたミニドラマを作りました。いじめが起きましたとき、友だちのために何ができるのか…そんなことを考えたり、話し合ってもらえるどうれしいです。

子どもアシストセンターの紹介編では、マスクットキャラクターのハッピーが案内となり、相談方法や雰囲気などをわかりやすく紹介しています!

DVDはみなさんの学校にお配りしていますので、気になる人は先生にぜひ聞いてみてくださいね!

子どもアシストセンター のぞいてみよう

※ホームページやYouTubeでも視聴できます。

検索